

知識の本 幼児向け

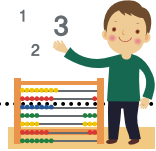
愛知県図書館児童図書室

平成 24 年 9 月

好奇心いっぱいの子どもたちへ

知識も経験も少ない子どもたちにとって、まわりの世界は不思議なことがいっぱい。これはなに？あれはなに？どうしてこうなるの？と質問攻めにされたことはありませんか？そんな子どもたちの好奇心を少しでも満足させられるように、知識の本のおすすめリストを作成しました。子どもたちと一緒に楽しんでください。

かず・あそび



「かず」 西内久典ぶん 安野光雅え 福音館書店 2003.4

はなはいくつある？かたほうのてのゆびのかずとおなじだね。ほしのとがったさきのかずもおなじだよ。おやゆびをおると、かざぐるまのはねのかずとおなじ。おなじかずのもの、ほかにはなにがあるかな？ゆびのかずとくらべてごらん。

「しろいかみのサーカス」(ちいさなかがくのとも) たにうちつねおさく いちかやかつひろしん 福音館書店 2008.4

しろいかみをふたつにおったら、かみがたった。なんまいもつかってくみたとると、おうちができたよ！かみをきってひっぱると、のびるのびる！おりかたしだいでおもい石だつてささえられるよ。かみっていろいろなことができるんだね。

「かみひこうき」(はじめてであう科学絵本 18) 小林実ぶん 林明子え 福音館書店 1976.4

いろいろなかたちのかみひこうき。どんなとびかたをするのかな。とがったひこうきはまっすぐとぶ。つばさのひろいひこうきは？つばめのはねのようにきつたらどうなる？パイロットになったつもりでよくかんがえて、とばしてみよう。



しぜん

「シロナガスクジラより大きいものっているの？」(評論社の児童図書館・絵本の部屋 ふしぎだな？知らないこといっぱい) ロバート・E・ウェルズさく せなあいやく 評論社 1999.4

地球上のいきもののなかでいちばん大きいのは、シロナガスクジラ。でも、この世で一番大きいものは？シロナガスクジラよりエベレスト山のほうが大きい。地球はそれよりもずっと大きい。くらべていくと、宇宙がどれだけ広いかがよくわかるよ。

「あしたのてんきははれ？くもい？あめ？」(かがくのとも傑作集どきどきしぜん) 野坂勇作さく 根本順吉監修 福音館書店 1997

テレビで天気よほうをみなくても、くもやおひさまやかぜのむきをよくみれば、あしたのてんきをあてることができるよ。ゆうやけぞら、ほしがちかちかまたたくぞら、おひさまがかさをかぶっているときなど、どんなてんきになるのかな？

「しずくのほうけん」 マリア・テレコフスカさく うちだいさこやく 福音館書店 1969.8

パケツからとびだしたしずくがたびにでました。おひさまにてらされて、やせていったしずくは、そらへのぼつてもまできると、あめになって地面にぎやくもどり。よるのさむさにこおってしまったしずくは…。水の性質をやさしく伝えます。

いきもの

「これがほんとの大きさ! [正]」(評論社の児童図書館・絵本の部屋) スティーブ・ジェンキンス作
佐藤見果夢訳 評論社 2008.3

この本にのっているどうぶつの絵は、ほんものとおなじ大きさ。ワニの頭は3頁分もあるし、深い海のそこにすむダイオウイカは、かた目だけでも1頁に入りきれないほど。本当の大きさを知ったらきっとびっくりしますよ。

「こいぬがうまれるよ」(かがくのほん) ジョアンナ・コール文 ジェローム・ウェクスラー写真
つばいいくみ訳 福音館書店 1982.11



おとなりのいぬにあかちゃんがうまれたら、いっぴきもらうことになっているわたし。あかちゃんがうまれるところから、しっかりと歩けるようになり、わたしの犬になるまでを写真でくわしく紹介します。

「すずめ」(だいすきしぜん どうぶつ) 唐沢孝一指導 内藤貞夫絵 フレーベル館 2008.9

知らない人はいないと思うほど、町の中や家のまわりでよく見かけるすずめ。とても身近な鳥ですが、何を食べ、どこに巣をつくり、どんなたまごをうむのか知っていますか? すずめの暮らしや習性をやさしく教えてください。

「にんじゃあまがえる」(しぜんにタッチ!) 松井孝爾監修 榎本功写真撮影 ひさかたチャイルド
2006.3

小さくてきれいな緑色をしたあまがえる。かわいらしい姿をしていますが、意外にも、にんじやのようにすごい術をもっています。はっぱがくれの術、いろがわりの術、くつつきの術など、ほかにもいろいろと写真で紹介しています。

「あげは」(かがくのとも傑作集 4) 小林勇ぶん・え 福音館書店 1969.8

なつのある日、あげはがはっぱに小さなたまごをうみました。たまごからかえった幼虫は脱皮をくりかえして成長し、さなぎになり、羽化してりっぱなちょうになります。実物の大きさも示しながら、大きな絵で育ちのようすがよくわかります。

「クモのいと」(ふしぎいっぱい写真絵本 16) 新開孝写真・文 ポプラ社 2009.5

あめあがりのクモのすはとってもきれい。みずたまがざりがあみについて、きらきらしています。でも、あみは虫をつかまえるためのおそろしいわな。クモはどうやってあみをつくるのでしょうか。あみの形もいろいろありますよ。



しょくぶつ

「たんぽぽ」(かがくのとも傑作集 14) 平山和子ぶん・え 北村四郎監修 福音館書店 1976.4

はるになると、みちばたや公園などいろいろなところで花をさかせているたんぽぽ。花がおわるとわたげができて、わたげはかぜにのってとんでいきます。たんぽぽの成長を順にそって絵でくわしく説明しています。

「どんぐりころころ」(しぜんにタッチ!) 大久保茂徳監修 片野隆司写真撮影 ひさかたチャイルド
2007.9

夏から秋にかけて成長するどんぐり。大きくなって色づいていくようすが、ひと月ごとに写真で紹介されています。秋になると林の中は、木から落ちたどんぐりでいっぱい。そのどんぐりを食べようと、鳥や動物たちがやってきます。

「バナナ」(だいすきしぜん たべもの) 天野實指導 斎藤雅緒絵 フレーベル館 2007.8

みなみのあついでところで育つバナナ。バナナがほかのくだものどちがうところはどこでしょう。バナナは木なのか草なのか? どんなすがたで実がなるのかなど、バナナのひみつがわかります。おやつ作り方ものっていますよ。

からだ



『みんなうんち』(かがくのとも傑作集 22) 五味太郎さく 福音館書店 1981.2

どうぶつもさかなもとりにんげんも、いきものはみんなうんちをします。かたちもいろもにおいもいろいろ。うんちの仕方もちがっていますすが、ものをたべていきているぼくたちは、みんなうんちをするんです。

『はははのはなし』(かがくのとも傑作集 5) 加古里子ぶん・え 福音館書店 1972.3

むしばがいたくてないている子は、はがなければいいのにと思っているかもしれませんね。でも、はがないと、ごちそうもたべられないし、えいようもとれずに病気になってしまいます。どうすれば、むしばにならずにすむのでしょうか。

『がぶりもぐもぐ!』(大型絵本 かがくとなかよし) ミック・マニング作 フリタ・グランストローム作 藤田千枝訳 岩波書店 1999.6

地面から出てきたおいしそうな芽をたべたのは、いもむし。そのいもむしをたべたのはキリギリス。そのキリギリスをクモがたべ、クモはトカゲにたべられて…。たべたりたべられたりという生きもの之间的关系をやさしく説明しています。